

# 【重要】MRI に関するお知らせ

当院では令和 8 年 5 月に MRI 機器の入れ替えを行います。新機種は（シーメンス社製 MAGNETOM Flow.Plus 1.5 テスラ ヘリウムフリー）になります。

当院ではお客様の安全な検査と MRI 機器の保守の観点から、MRI 検査に関しまして撮像基準を見直しました。MRI 検査における金属対応に関して変更点がありますので MRI 検査を予定しているお客様は、以下の内容を御確認の上、お越してください。

MRI（核磁気共鳴画像装置）はトンネル型の強い磁場と電波を利用した撮像機器です。

## 金属類の持ち込みが一切できません。

体内に金属がある場合や、金属が含まれるもの（化粧品類・染毛料などを含む）を身に着けている場合は検査ができませんので、中止もしくは金属類を除去した上での検査、検査日変更などが必要になります。また、安全のため、MRI 検査前には金属類を身に着けていないか確認する目的で、金属探知機での検査を行います。ご了承ください。

## MRI における禁忌事項

### 【原則禁忌】

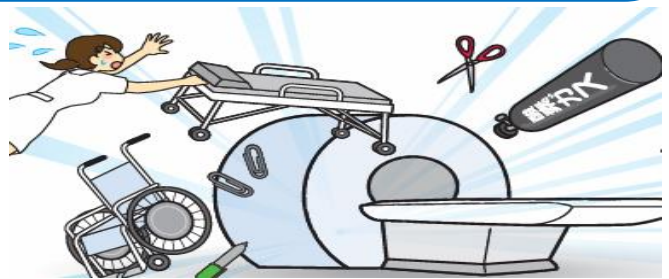
（MRI 対応型であっても当院では検査不可）

- 心臓ペースメーカー・ICD（埋込型除細動器）・ICM（埋込型心電図記録計）
- 人工内耳
- 妊娠中もしくは妊娠している可能性がある
- 尿道カテーテルの DIB キャップ（金属製）

- ネイル（マグネットネイル、ジェルネイルのほか素材不明のもの、ネイルパーツ含む）、金属が含まれる可能性のある化粧品（ラメ等を含んだもの）

- 増毛パウダー、白髪染めパウダー、ヘアマスカラ

※上記当日装着していない場合は検査可能です



金属が含まれていることに気が付かず使用されたメイク・染毛料・ネイルに関して、当日確認にて MRI 検査不可となる事例が近年増加しています。

当日の中止を避けるため、MRI 検査日はノーメイクでネイルは除去され、染毛料をつけてこないようお願いいたします。

今後ホームページにおきまして、起こりやすい検査不可事例などの案内を随時更新してまいります。

## 【体内医療電子デバイス・体内金属】

(主治医に MRI 検査可能か確認の上、御来院ください)

- 1995 年以前の体内医療金属・脳動脈クリップ
- 乳房再建術の皮膚拡張器
- CV ポートもしくは埋込型栄養・点滴チューブの留置
- その他主治医からの MRI 撮影許可の確認が取れていない治療金属・ボルト・人工関節等
- その他主治医からの MRI 撮影許可の確認が取れていない治療ステントや体内クリップ等
- 体内神経刺激装置
- 深部脳刺激装置 (DBS)
- 骨成長刺激装置
- 脳シャントチューブ (当院では対応不可)
- 眼内金属異物・可動性義眼・カラーコンタクト



【その他付属品など】 ※持ち込み不可です

- インスリン注入ポンプ、持続血糖測定器 (リブレなど)  
※事前に主治医にご相談の上、事前に検査時に外していただきます
- ニトロダームテープなどアルミニウムを含む絆創膏薬
- 湿布類
- 補聴器・腕時計などの装飾品
- ヒートテック
- 歩数計や携帯電話
- 義歯 (差し歯・かぶせものは可)
- 義眼、義足
- ウィッグ・ヘアピン・つけまつげ (エクステ)



【以下については、条件了承の元当院ではその責任を負いかねます】

- 歯の矯正・インプラント  
※画像の乱れやマグネット式の場合は磁気が弱まる可能性があります
- 刺青・タトゥー・アートメイク・美容糸  
※火傷の可能性があります、色素の成分によっては変色する可能性があります



その他、把握されている体内電子機器・金属類に関しましては、事前にご相談いただけますと撮影可否についてお調べします。お問い合わせください。

2026 年 4 月 17 日  
福岡和白総合健診クリニック